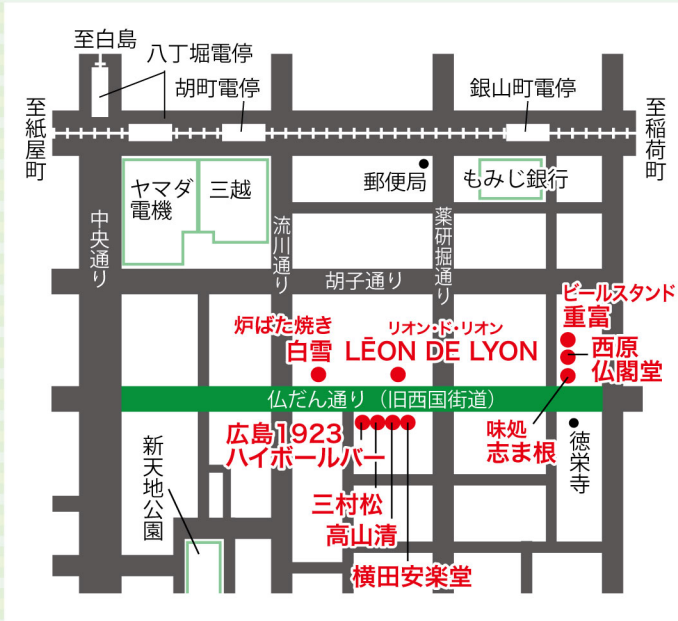




# ぶらり商店街 no.44

## 仏だん通り



広島城下町の外堀(路面電車が走る相生通り)の南側を東西に貫通していた西国街道。万人が往還する街道は物流の中心であり、沿道には商人や手工業者の住居である町屋がありました。この通りにも多くの職人が住み、水運の要所である川が近接するなどの要件も重なりやがては仏具店が軒を並べる通りに発展していきました。「仏だん通り」の呼称は、戦後、復興とともに繁華街の性格を強めるなかで、場所を伝えるのに分かりやすいためいつ頃からかそう呼ばれるようになりました。地元町内会等で組織する広島仏だん通り活性化委員会では、お釈迦様の誕生日(4月8日)の「花まつり」にあわせて伝統工芸体験や街かどドライブなど昼夜の両方を楽しめる「仏だん通り祭」を例年開催しています。



毛利氏から広島城を引き継いだ福島正則により城下に移設された西国街道。現在の賑わいの原型に繋がっています。左は広島仏だん通り活性化委員会の製作によるステッカー。仏だん通りをはじめ旧街道沿いの店舗に貼られているので目印になります。

## 伝統工芸の粋 広島仏壇



オススメ

各部品が結集しひとつの仏壇として組み立てられます。技の粋を集めた工芸品です。



▲銙金具



「蒔絵」は特殊な細い筆を使い漆で絵を描きます。その上に金属粉を蒔いて仕上げています。



浄土真宗の盛んな広島では古くから門徒を対象に仏壇製造が栄えました。1619年浅野長晟公が紀州から転封された折に随従してきた職人により高度な新技術がもたらされたことがその後の発展の礎となります。生産工程は木地、狭間、宮殿、須弥壇、銙金具、漆塗・金箔押、蒔絵の七つに分けられ、各工程の熟達した伝統の技は「七匠」(ななしょう)と呼ばれ、現在に引き継がれています。広島仏壇は1978年「伝統的工芸品」に指定されています。

# 継ぐ

## リオン・ド・リオン LÉON DE LYON

# 揮う



オススメ

コースは6,000円、8,000円、1万円(税別)。アラカルトのメニューも豊富。老舗の風格と温もりを感じる店内はカウンターとテーブル席があります。

今から約45年前に開業した老舗洋食レストラン。フランス料理を主とし、舌で感じる味付けは和食に近いものを、また口から鼻に抜ける風味を大切にしています。素材へのこだわりとお客様の嗜好に合わせて腕をふるい、先ずは「美味しい」と言われる料理の提供に専念しています。ご家族での利用や親子2代に渡り通われる方もいる老舗です。新天地のLYONは姉妹店。



中区堀川町 1-10 トーホービル  
TEL082-246-8210  
【営業時間】17:00~0:30  
【定休日】無休(年末年始は休み)